

2008年10月17日

各位

薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ B O X # 0 3 3 3

## 酸化マグネシウム製剤における 高マグネシウム血症について

制酸・緩下剤「酸化マグネシウム細粒」、「マグラックス錠250mg、330mg」（吉田製薬）は、酸化マグネシウム製剤を服用した患者において平成20年8月末までに**重篤な高マグネシウム血症が25例（死亡例：4例）報告されたため、使用上の注意が改訂されました。**

これまでも発現頻度不明として添付文書の【副作用】の項に記載されていましたが、今回新たに【重要な基本的注意】に記載し、再度注意喚起することになりました。高マグネシウム血症は、**腎機能障害のある患者や高齢者で多く発現**しています。

本剤は緩下剤として頻用されていますが、漫然と投与することなく、高マグネシウム血症の初期症状である、悪心・嘔吐、口渇、血圧低下、徐脈、皮膚潮紅、筋力低下、傾眠等の症状の発現に注意し、長期投与する場合には定期的に血清マグネシウム濃度の測定を行うなど十分な観察を行ってください。異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行ってください。

以下は、添付文書追記内容です。

|          |  |
|----------|--|
| 重要な基本的注意 | ・本剤の投与により、高マグネシウム血症があらわれることがあるので、長期投与する場合には定期的に血清マグネシウム濃度を測定するなど特に注意すること。  |
| 重大な副作用   | ・高マグネシウム血症：本剤の投与により、高マグネシウム血症があらわれ、呼吸抑制、意識障害、不整脈、心停止に至ることがある。悪心・嘔吐、口渇、血圧低下、徐脈、皮膚潮紅、筋力低下、傾眠等の症状の発現に注意するとともに、血清マグネシウム濃度の測定を行うなど十分な観察を行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。 |

\* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

\* 「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。